



概念を学ぶことも出来ました。それ以外の実用的科目も多く、牧会に出てからも活用できる学びも多くありました。

また、学問的なことばかりではなく毎週金曜日の作業、学院生による朝ご飯作り、実際にリサーチを学ぶことが出来る伝道実習、海外研修等、現場に近い状況での学びも出来たと思います。今、振り返って見ると学院での生活が今の牧会にもかなり影響していると思います。

学院のドアを直したり、草刈り機の使い方を先輩から教えてもらったり、機械管理も学びました。また、学生の自治的活動、学生会を通して規模は小さいけれども、運営、人々の配置、協力、イベントの企画なども学びました。

また、学院生たちの交わりを深めることも出来ました。授業だけでなく悩むことがあれば共に祈り合い、互いに足りない科目があれば助け合いました。また、安息のために学院に訪れた宣教師や牧師との交わりを通して牧会現場での悩み、私たちが持っている悩みと疑問、ビジョンを共有し共に祈ることもありました。

今もこれらのことは続いていると思います。生活、学び、聖書信仰のバランスの良い学びが出来たと思います。

### 3、牧会の現場に出てから

卒業してからすぐに牧会の現場に出ました。小倉中央教会に赴任して初めにしたことがトイレのドアノブの修理でした。学院での学びのすべてを覚えているわけではありませんが、聖書に取り組む姿勢、聖書の学び方、聖書信仰、先生たちの謙遜な姿、祈りの大事さ、説教演習で学んだ説教者の心構えなど3年間(私は4年でしたが)の学院での学びが心に刻まれていると思います。もし、神様の召しを受け神学校への入学を考えている方、聖書の深さ広さを経験したいと思う方は是非学院に来て下さい。生活、信仰、学びのバランスが取れた北海道聖書学院に日本の福音宣教のために来る新しい後輩をお待ちしています。

## 在校生の証し



### 今日も、私は学んだ

日本同盟基督教団 新札幌聖書教会

本科2年生

宋 裁淑 (ソンゼェスク)

HBIの木曜日は、組織神学の日です。沢山のエネルギーを要する学びの備えとして、朝の食事当番がHBI特製の豚丼をつくり、食べさせてくれます。体と心に力をつけて授業に臨みますが、組織神学は一筋縄ではいきません。授業の時、先生が「御子は、救済だけでなく啓示においても神と人との仲保の役割を果たされる。聖書に、神は人が誰一人見たことのない、見ることもできない方ですが(1テモテ6:16)、御子は『見えない神のかたち』(コロサイ1:15)として見えない神を見せてくださるのです。」と教えてくださいました。ここで私は「一つ気になることがあります。聖書に私たちが神さまを見ると書いてありますね(1コリント13:12)。墮落後の人間が聖なる神さまを見ることはできないのは理解できますが、墮落前の最初のアダムはどうですか。神さまを直接見たのではありませんか。」と聞きました。すると先生は、黒板に神と人間の相違点を書き、「しっかり覚えておくべきことがあります。神さまと人間は、神さまは無限のお方であり人間は有限な被造物であるという、存在の次元における隔りがあるということです。さらに墮落後、聖なる神さまと罪深い人間の間には倫理的次元における隔りが生じました。神と人との間には、倫理的次元以前に、存在の次元で隔りがあるのです。」と説明されました。なるほど。今日もまた目からウロコが落ちました。

## 遠隔地聴講生の証し



### 「HBIでの学びの恵み」

JECA北見めぐみキリスト教会

遠隔地聴講生 曾根 砂由里

札幌から離れた北見にしながら、HBIの生徒の皆さんと共に新約聖書通論の授業を受けること

ができる、遠隔地授業の恵みを心から感謝いたします。自宅にいながら、ズームで、聖書学院の一授業を共に受けられる事は素晴らしい取り組みだと思います。3年前にも旧約聖書通論を遠隔で受講させていただきましたが、断片的だった理解がまとまって新約聖書に続く流れを理解できとても良かったです。遠隔地授業が継続しており、今年も受けられ本当に感謝です。

今は、書かれた年代順に新約聖書を学んでおり、イエス様の昇天後、弟子たちがどのように福音を宣べ伝えて行ったのかがベースにあります。パウロが歩いた教会がどのような教会だったか、どんな人たちがいたか、誕生したての教会にどれほどの愛を注いで福音を宣べ伝えたか、どんな気持ちで手紙を書いたのか、新たな視点を沢山学び、今までと違った思いで聖書を読むことができるようになりました。2000年前がより身近に感じます。また一人ではなく、共に授業を受けられる事も励みになります。2学期3学期も福音書や手紙を学びます。とても楽しみにしています。

## 伝道実習報告



### 伝道実習を終えて

日本同盟基督教団 小海キリスト教会

本科2年生 佐藤 隆之

札幌を出発して数時間、車は広大な原野が広がる釧路へ、そして釧路のぞみキリスト教会へ…真新しい教会堂がそこにはありました。驚きと共に、主に感謝！

渡邊満幸先生とは私は今回が初対面となります。先生には優しく迎えていただき、教会内を案内していただきました。チャペルには「主の山には備えがある」(創世記22:14)の御言葉が掲げられていました。この御言葉は、実習中、何度も思い起させられました。

いよいよ奉仕の開始です。明日の礼拝及び特別CSに向けての準備は、実習生は夜遅くまで、中には夜を徹しての備えに勤しみました。主日礼拝は正に緊張の連続でしたが、礼拝の喜びもひとしおでした。本当に良い機会を与えられ、主に、そ

して渡邊先生、教会の皆様にご挨拶いたします。午後には特別CSで、皆、文字通り体当たりで取り組みました。聖書の話では子供達の真剣な姿を目の当たりにして、本当に恵みの時であったと思われました。

休息日を挟み、チーム別行動となります。伝道チームはトラクト配布をしましたが、それは地域を肌身を感じる時となり、現地でなければ知りえない事を体感出来ました。そこに祈りの課題も浮かび上がってきます。

リサーチチームは釧路キリスト福音館【山形 浩之師】、釧路虹の教会【趙 錦煥師】を訪問、インタビューさせていただきました。地域へのアウトリーチの重要性、超教派による地域伝道協力など興味深く、私たちの働きにも直結する話を伺うことが出来ました。

最終日前日は教会の皆さんと祈禱会、ふまねつと体操の集いを行いました。残念ながら新来者はおいでにならず、現実の厳しさを思い知りました。しかし、同時に、主のなさることに信頼し、期待し、待ち望むことを教えられました。夜には渡邊先生と共に、食卓を囲み、新鮮な海鮮料理を頂きました。このような贅沢にあずかれたのは、釧路のぞみキリスト教会の方の尊い献金があったからです。その他にも数々の献品がありましたことをご報告させていただきます。

帰路、十勝めぐみ教会を訪問させていただきました。これは伝道牧会、取り分け超教派での働きについてお聞きするとともに、全トンスク先生に是非とも再会したいという私の願いでもありました。全先生と私は再会までの数年、ともに恐らくこれまでの人生の中で最も困難な状況にありました。しかし、今回、今が最も霊に燃えているという先生のお話をうかがって本当に励まされ、恵みの時となりました。主への祈りがこうして聞き届けられるのだと、喜びをもってはっきりとお伝えすることができます。

最後に今回の伝道実習のために労して下さった各教会の先生、教会員の皆様、また、お祈り、お支えくださったHBIの先生、スタッフならびに多くの兄弟姉妹の皆様、そして何よりも常にともにいてくださり、守り、導いて下さった主に感謝をお捧げしたいと思います。



# 学生募集要項

## ■本科生

1. 入学資格
  - (1)新生の経験とともに主の働きへの召命が明確である者
  - (2)教会員として1年以上教会生活を経た、教会の推薦のある者
  - (3)本学院の規則と精神に喜んで従う者
  - (4)毎年、行われる入学試験（筆記・面接）に合格した者
  - (5)外国人の方は、日本語能力試験（JLPT）でN2以上の資格を必要とする
  - (6)外国人の方は、日本における所属教会を得ること
2. 入学願書に添付すべき書類
 

下記の書類を取り揃えて、本学院事務局に提出すること

第一期 2024年1月23日(火)まで  
第二期 2024年2月20日(火)まで

  - (1)入学願書（本学院所定の用紙を使用すること）
  - (2)救いの証・召命の証（それぞれ1200～2000文字）
  - (3)受験者本人の人格、信仰、学習能力を保証する所属教会の推薦状
  - (4)戸籍抄本
  - (5)最終学校の成績証明書
  - (6)健康診断書
  - (7)受験料 10,000円  
必要な用紙は本学院事務局へ、500円分の切手同封の上申し込むこと
3. 入学試験・合格発表
 

試験日：第一期 2024年1月29日(月)  
第二期 2024年2月26日(月)  
（なお試験日は、相談に応ずる）

試験科目：聖書知識・一般常識（英語・作文）・面接

試験場：北海道聖書学院  
合格発表：試験、面接の後、当日中に発表する
4. 入学手続き：合格者は、入学式当日までに次の各手続きを完了しなければならない。
  - (1)入寮届けの提出(用紙は合格通知とともに渡す)
  - (2)入学金納入 40,000円
5. 入学後の諸費
  - (1)授業料（年間） 240,000円
  - (2)寮費（年間） 180,000円
  - (3)食費（年間） 144,000円  
（時価により変動がある）
  - (4)海外研修積立費（年間） 84,000円
  - (5)傷害保険料（年間） 5,000円(2022年度)  
（変わる可能性あり）
6. 本科生への経済的援助として奨学金制度、家族住宅手当制度、暖房費補助制度有り

## ■短期信徒コース生

「北海道聖書学院で、信徒も学べるコースがあったら！」という要望に応じて、「短期信徒コース」が設けられています。1年間で、聖書の基礎



を学び、それを自分の信仰生活に生かしていただくこと。それがこのコースの目指しているところです。

「でも1年では無理」という方も、一度登録すると、最長3年に分けて単位を修得することができます。3年以内で必修単位をすべて修得した方に、修了証書を授与します。

### 1. 登録資格

- (1)教会員であること
- (2)所属教会の責任者の推薦があること
- (3)学院の教師会の面接を受けること  
☆年齢制限はありません。学歴も問いません。  
所定の申込用紙に記入し、2024年2月13日(火)まで本学院事務局に提出してください。

### 2. 費用

- (1)登録費： 5,000円（入学時のみ）
- (2)学費（年間） 180,000円  
分割払い（毎月15,000円 一学期で6万円）も可能です。特典として一年目の他の科目（特別講義も含む）を無料で聴講できます。

## ■遠隔地授業（聴講）

学院が所在する札幌より遠方に住む方が、インターネットで聴講（旧約通論、新約通論、キリスト教史、カテキズム）するための制度です。詳しくはホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

## □問い合わせ先：

北海道聖書学院  
〒003-0831 札幌市白石区北郷一条3丁目1-61  
TEL 011-871-7892 FAX 011-871-7899

## □HP メールアドレス

HPアドレス <http://www.hbi-wmc.org>  
Eメール [hbi@olive.plala.or.jp](mailto:hbi@olive.plala.or.jp)

## 卒業生の主な赴任先

(2023年9月現在)

教団・教派		教団・教派	
日本福音	73	バプテスト関係	4
キリスト教会連合		その他	39
日本同盟基督教団	26	海外宣教・	4
日本福音自由教会	6	海外在住	
日本自由福音教会	2	超教派・教会協力	9
ブレザレン	2	召天者	12
メノナイト	3		